

概説

Cente Compact FileSystemは、メモリやCPUなどのハードウェアに対する制限の厳しい組み込み機器向けに対応したDOS互換のFATファイルシステムです。

リソースの限られた環境への搭載を最大限に考慮し、サポートする機能を厳選することにより、コンパクトかつ低コストな製品に仕上げました。

また、2011年6月販売開始のバージョン2では基本構造を見直し、更なるサイズダウンを実現しています。

対応メディア例



仕様・特徴

- FAT12/16/32に対応
- ロングファイル名 (VFAT) をサポート
(Full pathで258Byteまで)
- 階層ディレクトリをサポート
- CPU, OSに非依存
- セクタサイズの指定が可能
- シングルスレッド設計によるコンパクト化
- コンパクトなプログラムサイズ
ROM: 20KByte RAM: 5KByte ※基本サイズ
- ユーザカスタマイズによる更なるコンパクト化
 - ・APIの選択が可能
 - ・FAT12/16/32の選択が可能
 - ・Full path最大長の指定が可能
 - ・パラメータチェックの有無が指定可能
- デバイスドライバサンプルを付属
- 各種CPU基板の動作サンプルを付属

● カスタマイズによるプログラムサイズ例

- ・API選択 ※下記APIを無効

rename
 remove
 rmdir
 ini_drvcache
 save_cache

- ・FAT12/16/32選択
全て有効
- ・Full pathの最大長
30文字
- ・パラメータチェック
有効

【プログラムサイズ】

ROM: 17KByte RAM: 2KByte

■製品構成

- Compact FileSystem本体ソースコード
- Shellコマンドによる各種APIテスト環境
- デバイスドライバサンプル
- 各種CPU基板動作サンプル

■CPU基板動作サンプルについて

- 標準付属: ESPT2用BSP

■API関数一覧

●ANSI準拠のAPI

fopen ※	ファイルオープン
fclose	ファイルクローズ
fflush	ファイルフラッシュ
fread	指定サイズの読み出し
fwrite	指定サイズの書き込み
fseek	読書き位置の移動
ftell	現在の読書き位置の取得
feof	ファイル終端判断
rename ※	ファイル名変更
remove ※	ファイル削除

●POSIX準拠のAPI

mkdir ※	ディレクトリ作成
rmdir ※	ディレクトリ削除
opendir ※	ディレクトリオープン
closedir	ディレクトリクローズ
readdir ※	ディレクトリ読み出し

■デバイスドライバについて

- 標準付属ドライバ: RAMディスクドライバ
PCカードドライバ(PCMCIA,CF)
- オプションドライバ: SDカードドライバ,SmartMediaドライバ
NAND Flashドライバ
PCMCIAコントローラドライバ

■オプションサービス

デバイスドライバの開発やCPU基板への実装は非常に難易度の高い作業です。当社ではハードウェア/ソフトウェア両方の側面から開発をお手伝いするサービスも行っておりますので、本パンフレットに記載の無いデバイスドライバやCPUについてもお気軽にご相談ください。

●独自仕様のAPI

finfo ※	ファイル情報の取得
get_fsyser	ファイルシステム内部エラーコード取得

●初期化用のAPI

ini_fsys	ファイルシステム初期化
ini_disk_sect ※	ドライブの初期化
mount_disk	ドライブのマウント
unmount_disk	ドライブのアンマウント (リムーバブルメディア用)
ini_drvcache	キャッシュ設定 (及びリフレッシュキャッシュ)
save_cache	キャッシュ情報をデバイスに保存

※印のAPIはUNICODE指定用とS-JIS CODE指定用の両方を準備しています。

【販売・開発・製造】

データテクノロジー株式会社

〒190-0022東京都立川市錦町1-8-7立川錦町ビル8F
TEL:042-523-1177 FAX:042-523-7070

株式会社ビー・ユー・ジー

〒004-0015北海道札幌市厚別区下野幌テクノパーク1-1-14

- お問い合わせ先:詳しくはサイトをご覧ください

E-mail:sales@cente.jp
TEL:042-523-1177

技術相談受付中!
www.cente.jp

【販売代理店】